

■時間外労働／休日労働に関する協定届【様式第9号の2（第16条第1項関係）】（一般条項）

労働時間の延長及び休日の労働は必要最小限にとどめられるべきであり、労使当事者はこのことに十分留意した上で協定するようにしてください。

なお、使用者は協定した時間数の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条に基づく安全配慮義務を負います。

<凡例>

入力不可

入力必須

入力例

上限文字数

◆ 3 6 協定で締結した内容を協定届（本様式）に転記して届け出てください。

◆ （任意）の欄は、記載しなくても構いません。

◆ 入力不可となっている項目は、一括届出事業場一覧作成ツールにより入力する項目となります。

時間外労働
休日労働

時間外労働に関する協定届
休日労働

労働保険番号
法人番号

事業の種類
事業の名称
事業の所在地（電話番号）
協定の有効期間
電話

事由は具体的に定めてください。

業務の範囲を細分化し、明確に定めてください。

時間外労働をさせる必要のある具体的事由

業務の種類【事業場外】

労働者数（満15歳以上の者）

所定労働時間（1日）（任意）

1日

1ヶ月（①については45時間まで、②については42時間まで）

1年（①については360時間まで、②については320時間まで）

時間外労働をさせる必要のある具体的事由

業務の種類【事業場外】

労働者数（満15歳以上の者）

所定休日（任意）

1ヶ月

1年

時間外労働をさせる必要のある具体的事由

業務の種類【事業場外】

労働者数（満15歳以上の者）

所定休日（任意）

1ヶ月

1年

協定書の内容に合わせてプルダウンから選択若しくは自由入力欄に入力する必要があります。

「その他（事由不明を含む。）」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

「分類不能の職業」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

事業場外の業務について入力する場合は、「下段（括弧あり）」へ入力する必要があります。

1日の法定労働時間を超える時間数を定めてください。

1か月の法定労働時間を超える時間数を定めてください。

1年の法定労働時間を超える時間数を定めてください。

業務の種類が4つを超える場合は続紙を使用します。

対象期間が3か月を超える1年単位の變形労働時間制が適用される労働者については、②の欄に入力してください。

「その他」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

時間外労働と法定休日労働を合計した時間数は、月100時間未満、2～6か月平均80時間以内でなければいけません。これを労使で確認の上、必ずチェックを入れてください。チェックボックスにチェックがない場合には、有効な協定届とはなりません。

※いずれの入力欄についても、文字数が収まらない場合には、「別添のとおり」と記載の上、協定の内容がわかる資料を添付してください。

■時間外労働／休日労働に関する協定届（一般条項）（続紙1）～（続紙5）

時間外労働
休日労働

時間外労働に関する協定届（続紙）

様式第9号の2（第18条第1項関係）

2

2

時間外労働 の 下記の に 該当 しない 労働者	時間外労働をさせる 必要のある具体的事由	業務の種類 〔事業場外〕	労働者数 （以上の者）	所定労働時間 （1日） （ 任意 ）	延長することができる時間数					
					1日		1ヶ月（⑤については48時間まで、 ⑥については72時間まで）		1年（⑦については360時間まで、 ⑧については48時間まで）	
					法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）
時間外労働	事業計画・経営企画の策定、見直し	管理職・業務従事者	1人	7 時間 30 分	3 時間	3 時間	30 時間	40 時間	250 時間	370 時間
	※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内									
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業								
	○○○○○○○○○○○○	※54文字以内	1人	7 時間 30 分	2 時間	2 時間	15 時間	25 時間	150 時間	270 時間
	※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内									
	※44文字以内	※54文字以内								
	※44文字以内	※54文字以内	1人	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	
	※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内									
	※44文字以内	※54文字以内								
⑤ 1年単位の 実労働時間 超過により労働 する労働者	新規事業・プロジェクトの立ち上げ	専門的・技術的職業従事者	1人	7 時間 30 分	3 時間	3 時間	20 時間	30 時間	200 時間	320 時間
	※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内									
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業								
	○○○○○○○○○○○○	※54文字以内	1人	7 時間 30 分	3 時間	3 時間	20 時間	30 時間	200 時間	320 時間
	※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内									
	※44文字以内	※54文字以内								
	※44文字以内	※54文字以内	1人	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	
	※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内									
	※44文字以内	※54文字以内								
休日労働	休日労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類 〔事業場外〕	労働者数 （以上の者）	所定休日 （任意）		労働させることができる 法定休日の日数		労働させることができる 法定休日における始業 及び終業の時刻		
	機械の故障等のトラブルへの対応	専門的・技術的職業従事者	1人	土日祝		1 か月		8 時 ～ 17 時		
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内		30 分 ～ 30 分		
	※54文字以内					※30文字以内				
	※44文字以内	※54文字以内		1 回						
	※44文字以内	※54文字以内	1人	※57文字以内		※64文字以内		8 時 ～ 17 時		
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内		30 分 ～ 30 分		
	※54文字以内					※30文字以内				
	※44文字以内	※54文字以内		1 回						
	※44文字以内	※54文字以内	1人	※57文字以内		※64文字以内		時 ～ 時		
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内		分 ～ 分		
	※54文字以内					※30文字以内				
※44文字以内	※54文字以内	回								
※44文字以内	※54文字以内	1人	※57文字以内		※64文字以内		時 ～ 時			
※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内		分 ～ 分			
※54文字以内					※30文字以内					
※44文字以内	※54文字以内		回							

必ずページ数及び総ページ
数を入力してください。

■時間外労働／休日労働に関する協定届【様式第9号の2（第16条第1項関係）】（特別条項）

臨時的な特別の事情がなければ、限度時間（月45時間又は42時間・年360時間又は320時間）を超えることはできません。
限度時間を超過して労働させる必要がある場合でも、時間外労働は限度時間以内できる限り近づけるように努めてください。

様式第9号の2（第16条第1項関係）		時間外労働 休日労働 に関する協定届（特別条項）										
事由は具体的に定めてください。 臨時的に限度時間を超過して労働させることができる場合	業務の種類 【事業場外】	労働者数 （以上） （人）	1日 （任意）		1箇月 （時間外労働及び休日労働を合算した時間数、100時間未満に据る。）				1年 （時間外労働のみの時間数、720時間以内に据る。）			
			延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 （任意）	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	限度時間を超過して労働させることができる回数 （6回以内に限る。）	延長することができる時間数 法定労働時間を超過する時間数と休日労働の時間数を合算した時間数 （任意）	限度時間を超過した労働に係る割増賃金率 （任意）	延長することができる時間数 法定労働時間を超過する時間数 （任意）	所定労働時間を超過する時間数 （任意）	限度時間を超過した労働に係る割増賃金率 （任意）		
協定書の内容に合わせてプルダウンから選択若しくは自由に入力欄に入力する必要があります。 事由は一時的又は突発的に時間外労働を行わせる必要のあるものに限り、できる限り具体的に定めなければなりません。 「業務上の都合が必要」と「業務上の都合を得ない」ときなど恒常的な長時間労働を招くおそれがあるものは認められません。	急な離職等による人員不足	10	6時間 0分	6時間 30分	4回	60時間 30分	70時間 0分	35%	550時間 30分	670時間 0分	35%	
	※44文字以内							※50文字以内			※50文字以内	
	その他（事由不明を含む。）							35%			35%	
	※44文字以内							※50文字以内			※50文字以内	
	「その他（事由不明を含む。）」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。											
	※44文字以内											
	※44文字以内											
	※44文字以内											
	※44文字以内											
	※44文字以内											
限度時間を超過して労働させる場合における手続	その他											
限度時間を超過して労働させる労働者に対する健康及び福祉確保するための措置	（該当する番号） ① 労働時間が一定時間を超えた労働者に医師による面接指導を実施すること。 ② 労働基準法第37条第4項に規定する時間の間において労働させる回数を1箇月について一定回数以内とすること。 ③ 終業から始業までに一定時間以上の継続した休息時間を確保すること。 ④ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、代置休日又は特別な休暇を付与すること。 ⑤ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、健康診断を実施すること。 ⑥ 年次有給休暇についてまとまった日数選択して取得することを容れてその取得を促進すること。 ⑦ 心とからだの健康問題についての相談窓口を設置すること。 ⑧ 労働者の勤務状況及びその健康状態に配慮し、必要な場合には適切な部署に配置転換をすること。 ⑨ 必要に応じて、産業医等による助言・指導を受け、又は労働者に産業医等による保健指導を受けさせること。 ⑩ その他	（具体的内容） 対象労働者への医師による面接指導の実施、対象労働者に11時間の勤務間インターバルを設定、職場での短時間労働会場の開催 ※42文字以内										
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について100時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超過しないこと。												
（チェックボックスに要チェック）												
協定の成立年月日 年 月 日												
協定の当事者である労働組合（事業場の労働者の過半数で組織する労働組合）の名称												
又は労働者の過半数を代表する者の職名 氏名												
協定の当事者（労働者の過半数を代表する者の場合）の選出方法（ ）												
○上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。												
○上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。												
年 月 日												
労働基準監督署長殿												
使用 職名 氏名												

1か月及び1年の法定労働時間を超過する時間数を入力する場合、1年間の上限時間を計算する際の起算日を入力してください。
その1年間においては協定の有効期限にかかわらず、起算日は同一の日である必要があります。

限度時間を超過して時間外労働させる場合の割増賃金率を定めてください。
この場合、法定の割増率（25%）を超える割増率となるよう努めてください。

月の時間外労働の限度時間（月45時間又は42時間）を超過して労働させる回数を定めてください。
年6回以内に限ります。

限度時間（月45時間又は42時間）を超過して労働させる場合の、1か月の時間外労働と休日労働の合計の時間数を定めてください。月100時間未満に限ります。
なお、この時間数を満たしていても、2～6か月平均で月80時間を超過してはいけません。

限度時間を超過して時間外労働させる場合の割増賃金率を定めてください。
この場合、法定の割増率（25%）を超える割増率となるよう努めてください。

限度時間（年360時間又は320時間）を超過して労働させる1年の時間外労働（休日労働は含みません）の時間数を定めてください。
年720時間以内に限ります。

業務の種類が8つを超える場合は統紙を使用します。

必ずいずれかの措置を講ずることを定めてください。
チェックボックスにチェックを入れ、右欄に具体的な内容を入力してください。

時間外労働と法定休日労働を合計した時間数は、月100時間未満、2～6か月平均80時間以内でなければいけません。これを労使で確認の上、必ずチェックを入れてください。
チェックボックスにチェックがない場合には、有効な協定届とはなりません。

※いずれの入力欄についても、文字数が収まらない場合には、「別添のとおり」と記載の上、協定の内容がわかる資料を添付してください。

■時間外労働／休日労働に関する協定届（特別条項）（続紙1）～（続紙5）

様式第9号の2（第18条第1項関係）

時間外労働
休日労働

に関する協定届（特別条項）（続紙）

2 / 2

臨時的に限度時間を超えて 労働させることができる場合	業務の種類 【事業場外】	労働者数 （満18歳以上の者）	1日 （任意）		1箇月 （時間外労働及び休日労働を合算した時間数、100時間未満に限る。）			1年 （時間外労働のみの時間数、 720時間以内に限る。）			
								起算日 （年月日）			
								[] [] [] 年 [] 月 [] 日			
延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 （任意）	限度時間を超えて労働させることができる時間数 （60時間以内に限る。）	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 （任意）	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 （任意）	限度時間を超えて労働させることができる時間数 （任意）	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 （任意）	限度時間を超えて労働させることができる時間数 （任意）			
急な離職等による人員不足	専門的・技術的職業従事者	10人	6時間	6時間	4回	60時間	70時間	35%	550時間	670時間	35%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業	20人	6時間	6時間	3回	60時間	70時間	35%	500時間	620時間	35%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	
	※54文字以内	人	時間	時間	回	時間	時間	%	時間	時間	%
※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分	分	分	分	分	

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。